# 事業評価シート (平成23年度分)

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	環境活動支援事業				
事業担当	環境部 環境政策課				
事業種類	O ハード ● ソフト	○ ハード ● ソフト			
<b>炒</b> ム型両の	'03 基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち				
総合計画の 位置付け	'01 ①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ				
	'01 1 自然を守るしくみづくりを進める				
根拠法令等					
対象•受益者	環境分野の市民活動団体、市民 事業期間				
委託、協働	委託、協働 【委託: □3セク・財団 □企業 □NPO ■ その他 】 【協働: 環境ファンクラブ				
	目的・目標事業の概	事業の概要			
場に応じて自発的	創造の重要性に気付き、考え、それぞれの立 環境ファンクラブ登録会員のネッ発的、積極的に行動する市民、市民団体、事 動発表会などを開催するとともにな環境保全活動を行うとともに、先導的な取 活性化を図るため、団体活動など発信しています。	、環境団体などの活動の			

2. 事業の検証		て私を主人が明出口	1kL		W /L   -	
٠T =	指標名	活動発表会等開催回数			単位 回	
	説明·算定式					
活動指標①		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	4	2	4		
	指標名				単位	
活動指標②	説明•算定式	t				
/ 白 刬 扫 信 🕹		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
	指標名	環境ファンクラブ登録	会員数		単位 人	
成果指標①	説明·算定式	t.				
<b>戍未担保</b> ①		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	80	90	100	120	
	実績	83	91	95		
	指標名				単位	
成果指標②	説明·算定式					
<b>以未担保</b> (		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
	①:予定	どおり				
進捗状況	遅れている理由					
平成23年度の	主な取組と原	<b></b>				
ました。また、エ	環境活動に取		面で支援する環境活動す	と援事業を実施しました。		

平成23年度	A:成果があがった
の検証結果	│ A:成果かあかった │

	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事	必要性	<ul><li>□ 市民ニーズ</li><li>□ 事業目的の達成状況</li><li>■ 市の関与の必要性</li><li>□ その他</li></ul>	市民が主体となった環境活動を促進していくため、環境 ファンクラブ等との協働により推進していく本事業には、市 が関与する必要性があります。	● 高
業	<del></del>	<ul><li>■ 上位施策への貢献</li><li>■ 市民満足度を高める方策</li><li>□ 継続による成果向上の可能性</li><li>□ その他</li></ul>	環境ファンクラブ会員相互の交流やイベントへの出展、環境教室の開催等により、活動の輪が広がり、レベルアップも図られています。市民活動団体と市との協働も実践できています。	● 高
分析	妥当性	<ul><li>□ 事業の目的、対象、内容</li><li>□ 受益者負担、補助額</li><li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li><li>□ その他</li></ul>	活動の発展・拡大に伴い、事務局機能や専門機関とのコーディネートなどを担う職員の業務が増えています。	○高中低
	効率性	<ul><li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li><li>□ コスト削減の可能性</li><li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li><li>□ その他</li></ul>	事務局機能を含め、市民活動団体と市との役割分担について、更に検討していく余地があります。また、環境活動支援事業については、今後、他の支援策と調整していく必要があります。	○高中低

# 今後に向けた課題の分析

<u>「分後に向けた課題の分析</u>」 必要性、有効性の総合評価は高くありますが、市民活動団体等と市との役割分担、担当職員の業務増への対応などについ て、更に検討していく必要があります。

#### 3 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

3. 千度加争未内台·太异假 (单位. 十日)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
		決算額	決算額	決算額	予算額
	事業内容		活動発表会、研修会の 開催等及び団体等の支援	活動発表会、研修会の 開催等及び団体等の支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援
	国庫支出金	0	0	0	0
財源内訳	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	283	190	195	194
事業費(A)		283	190	195	194
執行率(%)		88.99	84.82	100.00	
内	職員(人)	0.52	0.62	0.42	0.41
訳	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		4,346	5,121	3,404	3,287
フルコスト(A+B)		4,629	5,311	3,599	3,481

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

#### 平成25年度の取組方針

委託範囲の拡大を含め、市民活動団体等と市との役割分担や事業の推進方法等を見直しながら、現状の規模で事業内容の 充実を図ります。

## 課長コメント

地球温暖化をはじめとする環境問題は、市民・事業者が自ら取り組むべき課題として認識するとともに、自主自律的な実践行 動が求められています。市民・事業者・市の役割分担や連携などを検討し、事業の充実・発展を図ります。